

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 3 月 1 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	11	1		13 人

前回の改善計画	得た情報を把握していない、活かせていない。 →利用開始決定となった利用者の事前情報をみた職員はサインする。追加情報は連絡ノートに記入し共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	2		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	4	8	1		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	3		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員同士で話し合っている。 情報は連絡ノートやサマリー、ミーティングなどで確認している。 事前情報を読んだ上で、慣れていない利用者へ声かけし、好きなものや趣味の話題を提供しコミュニケーションを取っている。サービス利用開始時のこまめな声かけ、気配りをして安心して利用していただけるよう支援している。 家族・介護者への声かけし不安な点は解決できるよう話し合っている。 事前資料と実際の情報が一致していないことが多いが臨機応変に対応している。 訪問→通い→泊まりの流れで慣れるまで段階を経て利用していただいている。 まだ慣れていない利用者無理に誘わないようにしている (通いを訪問に切り替えるなどで対応)。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 情報が少なく、利用間近まで情報がわからない。情報を活かせていない。 必要とする介護ができていない利用者とうそでない利用者がある。 勤務時間により家族に会えない。(パート職員) 本当に必要としている支援が不明。 気遣いを怠ることがある。 様子観察は時間をかけないとわからない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 3月 1日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	7		13人

前回の改善計画	本人の目標、「〇〇したい」がわからない利用者がある。「〇〇したい」のかかわりが毎日ではできていない。→日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録し共有している。ケアポイントを状況に応じ臨機応変に変更する。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録して共有している。ケアポイントを本人の状態に合わせ変更し実現可能なものになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1		10	2	13
⑪	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	8	1	13
⑫	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	6		13
⑬	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	2	6	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 「〇〇したい」が少しは分かって支援につながっている。 コミュニケーションにて、「〇〇したい」を引き出すことができる利用者もいる。 利用者のあるがままを受け入れ、相手の訴えに耳を傾ける。 記録を見て関わった内容の振り返りはできていると思う。 ケアポイントに添って支援している。 業務日誌のケアポイントにチェックを入れ、タブレット (記録) に記入している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者がうまく「〇〇したい」を表現できないため、わかりづらい。 目標や「〇〇したい」をうまく聞き出せていない。何度もきくと機嫌を損ねてしまう。 「〇〇したい」という目標を念頭に入れて意識的に支援できていない。一日の流れの中で自分の仕事をするのが精一杯でかかわる時間をあまり作れていない。 「将来こうしたい」ではなく「今が楽しければよい」というのが認知症の考えだと思うので、本人が何がしたいか明確でない場合が多い。 一人一人のケアポイントをすべて把握していない。 自分たちが目標と思っても、利用者がそう思っているかはわからない。 今行っている支援が正しいのかわからない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 「利用者本人の具体的なゴール (〇〇したい、こうなりたい) を知り、それに近づける支援を考える」を事業所目標として掲げる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

3. 日常生活の支援

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	4		13人

前回の改善計画	利用者の気持ち、プライドに適した言葉での声かけができず不快な思いをさせてしまうことがある。本人の好きなこと嫌いなことを十分意識せずにかかわっている。 →日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことを2つずつ挙げ、職員間で共有し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから「好きなこと嫌いなこと」を2個ずつ挙げ職員間で共有し支援につなげた。利用者ごとにまとめセンター方式のファイルに綴じすぐ見られるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	3	3	5	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	1		13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	6		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	2		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること フレンドリーに接しながらもプライドなどには気を遣ってコミュニケーションを取っている。 利用者の嫌がることは言わない、やらないようにしている。 職員間で利用者の好みなど話し合っている。 連絡ノートや職員同士の情報交換などで各利用者の特色を把握している。 好きなこと嫌いなことの表を作った。 体調の変化や普段と違う様子が見られた時はその日のリーダー中心に報告、記録し情報を共有し支援している。表情の変化に気付けるようにしている。 本人の状況に合わせた基礎的な介護はできている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他の利用者の悪口を言う利用者のことを受け入れられない。 すべての利用者の情報が覚えられない。 以前の暮らし方を10個以上把握できていない。本人の声にならない声をチームで言語化できていない。 時間がないため好きなこと嫌いなことの表が新しい利用者に更新されていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことのさらに新しい情報を得て、職員間で共有し支援につなげる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3	6	4	13人

前回の改善計画
 地域との関係は人それぞれの事情もあり難しい。家族が地域とのかかわりを希望していない。
 →今つながっている地域資源を一人一人の利用者ごとに書き出しその他必要な資源はあるか家族と考える。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者ごとに地域の資源をまとめた。家族にアンケートを取ってはいないが、職員がまとめた資源を家族に提案する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	6	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	5	4	13
②	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	4	5	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	1	9	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用者の性格、生活スタイル、人間関係などは理解していると思う。
 情報シートなどで理解できている。
 以前からの人間関係を壊さないよう努めている。
 送迎時、接していない時間の様子を家族に聞いている。GPSを活用し活動範囲、時間を把握している。
 本人がよく行く食堂、コンビニなどと連携を取っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 直接接していない時間、どのように過ごしているかはあまり理解していない。
 家族との会話がないためわからない。(パート職員)
 周りの環境が理解できていないため、民生委員や地域の資源などは把握できていない。
 家族が地域とのかかわりを求めているのかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。
 家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	8	3	1	13人

前回の改善計画
「訪問」があまりできていない。「通い」「宿泊」が中心となっている。
→どのような訪問が利用者の支援になり得るか考える。

前回の改善計画に対する取組み結果
令和2年より月200回以上の訪問となったので訪問体制強化加算をつけることになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	2	6	4	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	7	1	2	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	11		1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	6	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員間の情報共有や自ら気づいたことも職員に伝え柔軟に支援している。
変化には皆よく気付いている。状態に応じた支援ができている
訪問を見直し、訪問回数を増やすことにより訪問体制強化加算を取ることができた。
元々の支援者や近所の人々の支援の継続できた。
訪問することにより自宅での様子がわかった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源をうまく使えていない。
低下した機能などに合った支援をしているが、向上させることは難しい。
通いが多い。本人の声ではなく家族の要望を中心に支援していることが多々ある。
訪問や送迎で外に出てしまうとかわりが少なくなるため、変化に気づきにくい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。
地域のイベントに参加することを継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

6. 連携・協働

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2	4	2	3	13人

前回の改善計画	かかわる職員に限られているため、他の職員が取り組みを理解していない。 →職員会議にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2		8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	1	8	13
②	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	3	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	7		4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 管理者やケアマネが連携しているので、職員会議での発表や報告は聞いている。 夏祭りや餅つきなどのイベントで高齢者や子供たちが来てくれる。 近所の人や友人などが面会に来られる。 地域の活動やイベントに参加している。 手遊びやボランティアなどをやっている。 福祉レンタル、包括や役所との連携をしている。 職員が少ない中、みんなと協力して支援を全うしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること かかわる職員に限られているためできていない。（パート職員） どのようなことをしているのか知らない。 会議に参加する機会がない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 会議の内容をタブレットの記録に入力し、職員間で情報を共有する。職員界でも発表していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

7. 運営

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		7	3	1	13人

前回の改善計画	地域と協働した取り組みができていない。職員同士の会話が多い。報連相ができていない →連絡ノートで情報提供する。職員会議で情報を交換している。
前回の改善計画に対する取組み結果	連絡ノートで情報提供している。職員会議で情報を交換している。コンビニなどと連携を取った。会議の時間を利用して学習を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	4	5	3	13
③	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	9	2	1	13
④	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	5	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	1	7	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 報連相はできている。 職員同士の会話が多い分、情報共有はできている。気付いた点はその都度意見を言っている。 提案や意見など会議で取り上げている。 意見や苦情は真摯に受け止め改善に取り組んでいる。苦情処理シートを使い原因と対策をその都度今後の課題として挙げている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 私語が多い。 地域からの意見があるのかわからず運営に反映しているのかわからない。 事業所のあり方については意見が言えない。 3, 4→地域に対する意識が薄い。 報連相ができていない。 苦情に対してはその時だけで反映されない。 連絡ノートの情報が多すぎて内容を忘れてしまうことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	8	3		13人

前回の改善計画	新たなリスクを意識しながら動けていない。(目配り・気配りが足りない)。 →研修計画を作成し職員一人が最低1つは研修に参加する。事故の再発防止策について具体的に考え共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部講師を招いて介護技術講習を全員が受けた。 職員会議での事故報告を各担当者に発表してもらおうやり方を変更した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	7	1		13
⑤	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	5	3		13
⑥	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	8	13
⑤	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	4	4	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修で得たことを仕事の中で行動に移している。 研修に参加しスキルアップにつなげた。 リスクマネジメントについては事故の情報を共有し、再発防止を図っている。 ヒヤリハット、事故報告を活かし室内の配置換えを行っている。 同じことを繰り返さないようにという意識がある。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること リスクを考えないで動いてしまうことがある。職員間のリスクの捉え方が違う。その時だけのリスクしか意識できていないことがある。 目配り・気配りが不足している。 一定した支援ができない。 地域連絡会に参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 研修で学んだことを実践で活かしていく。 事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 3月 1日

9. 人権・プライバシー

メンバー 亘、山田、矢島、川島、石川、三ッ森、菅井、樋口、小井田、藤森、石井、斉藤、江原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	3	1	13人

前回の改善計画	職員の声が大きくて聞こえてしまうのか、利用者が他の利用者の情報を知っていることがある。 →適切な声かけを行い他の利用者に聞こえないよう配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	時間がなく対象者もいないため成年後見人の学習はできていない。 職員の声のトーンが大きくなるよう注意を喚起している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3			13
②	虐待は行われていない	11	2			13
③	プライバシーが守られている	1	6	6		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	2	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	8	2	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束、虐待は行われていない。 申し送り時、近くに利用者がある場合は名前を出さないようにしている。 音楽を流し職員同士の申し送りの内容が聞こえないようにする。 利用者に対し適切な態度を常に心がけている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 会話の声が大きく、個人情報の部分が他の利用者に聞こえてしまっている。 利用者への配慮が足りない。 対象者がいないため成年後見人の活用がされていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける (現在は対象者はいない)。 職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する (特に排泄のことを話す時)。頻回に注意を喚起していく。
---------------	---